



## ステージの上袖から...

令和5年度の発表会も無事終了しました。新型コロナウイルスが第5類に移行され、人数制限の無くなった観客席が埋め尽くされる光景は本当に久しぶりで、感無量。皆様には不自由をおかけすることにもなりましたが、ご協力を頂き感謝の気持ちで一杯です。

年少さん～年長さんまで段階を追ってご覧頂くことで、この3年間の「成長」のびっくりするような伸び代を実感して頂けたでしょうか。初めての大きな舞台で、不安と緊張で泣きじゃくっていた年少さんは、幕が上れば頑張って踊ることが出来ました。昨年、なんだか立ち位置ばかり気にしすぎて、終わったしまった子どもたちが年長さんになって見違えるような姿を見せ、幼稚園最後の舞台となった年長さんは、臆することなく堂々とした舞台度胸を示してくれました。

そして、華やかな舞台の裏では、大車輪で動き回っていた先生たち。一分一秒たりとて息つく暇なく任務遂行に邁進していた先生と、舞台上で輝く子どもたちを、上袖から静かに見守っていた次第です。

ここまでの「過程」が大切なんだと、何度となく説いておりましたが、もちろんそうなのですが、このステージで、大勢のお客様の目の前で、キラキラの衣装と眩しい照明の中で演じることの意味を今更に実感させられた今回の発表会でした。

舞台を正面から見守ることはできませんでしたが、舞台袖から、子どもたちの緊張の息遣いが聞こえるような距離感で、子どもたちとおなじ気持ちで見守ることが出来ました。子どもたち、保護者の皆様、先生たちへ...「ありがとう！お疲れ様！」



リハーサル準備がようやく終わった頃、雪が舞っていました。（というか吹雪いていました！！）幼稚園に戻って、積もった地面に書いたのであろう先生たちのつぶやきに、翌日の早朝に気づき思わずカシャ！先生たちの気合いを感じる嬉しいワンショットです。

